



資料 2

甲子川の洪水対策等について

令和4年9月

第18回甲子川の明日を語る会

岩手県沿岸広域振興局土木部

| | |
|--------------|-----------|
| 1. これまでの取り組み | • • • P3 |
| 2. 工事の実施状況 | • • • P7 |
| 3. 今後の計画 | • • • P9 |
| 4. 維持管理 | • • • P12 |
| 5. 甲子川水門が完成 | • • • P15 |
| 6. その他情報提供 | • • • P20 |

1. これまでの取組み

○H24年～ 下流から順に河道掘削等を実施。

- 堆積土砂除去。
- 洪水の発生や現地の状況に応じ、「語る会」等の意見も参考として工事内容を適宜見直し。



上中島地区 施工前



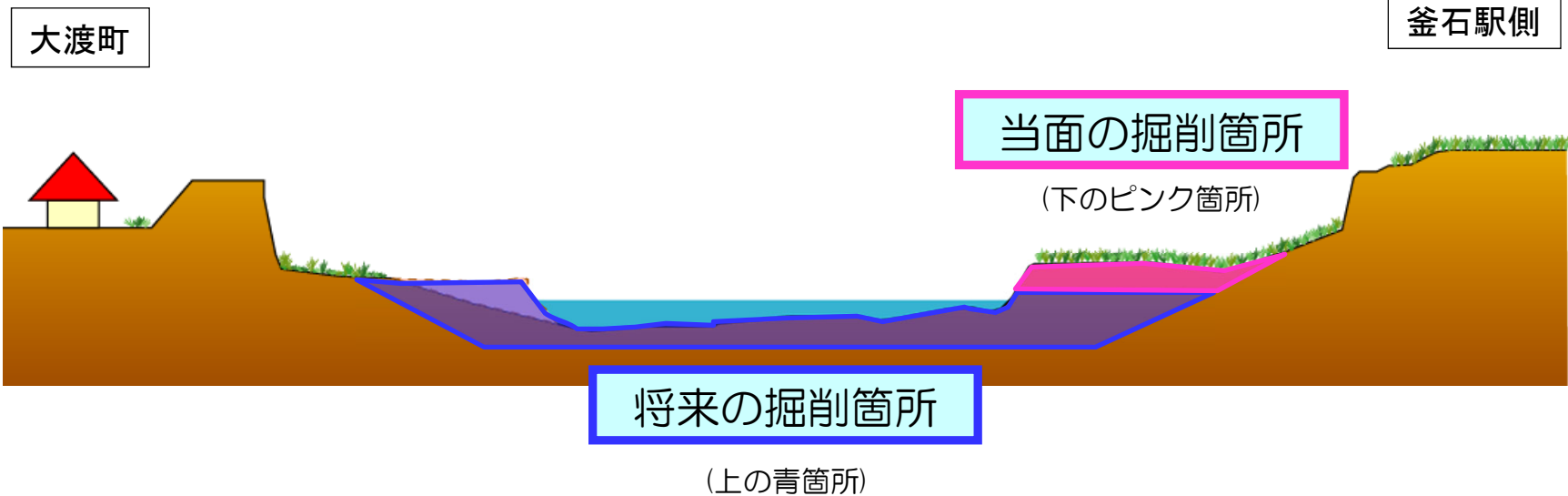
上中島 施工後

※ 施工前が出水期、施工後が渇水期の写真

1. これまでの取組み

計画横断面図

河道掘削断面図(イメージ)



第10回 甲子川の明日を語る会(H26.3.12)で了承いただいた事項

- 当面は水面より上部を掘削し、将来的にはさらに掘削する二段階での施工を行う。
- 良好なみお筋は保全する。

1. これまでの取組み

対策は、下流から順に進めていきます。

第12回 甲子川の明日を語る会(H28.12.14)で了承いただいた事項

そのうえで、

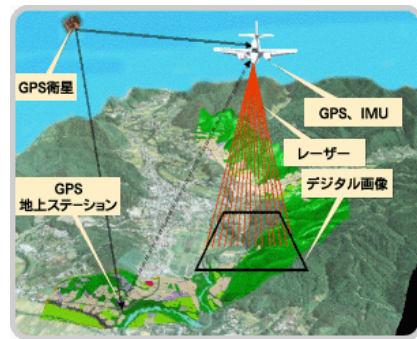
- 当面は、H14年、H19年、H28年と同等の洪水を計画高さ以下で流せることを目標に進めます。
- 有識者の意見を踏まえながら、希少種の移植、樹木の一部存置、みお筋の一部掘削、濁水の抑制など、自然や河道の保全に努めます。

1. これまでの取組み

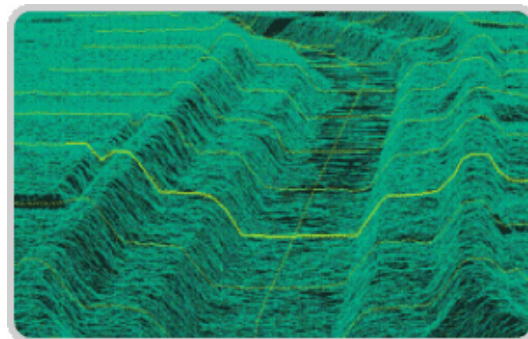
H27年度、河道の測量を実施して土砂の堆積状況を確認。
第12-13回において、掘削計画案を提示。

→委員の皆様より残工区の河道掘削工事について了承済。

※ R03出水をうけての堆砂状況は確認済み



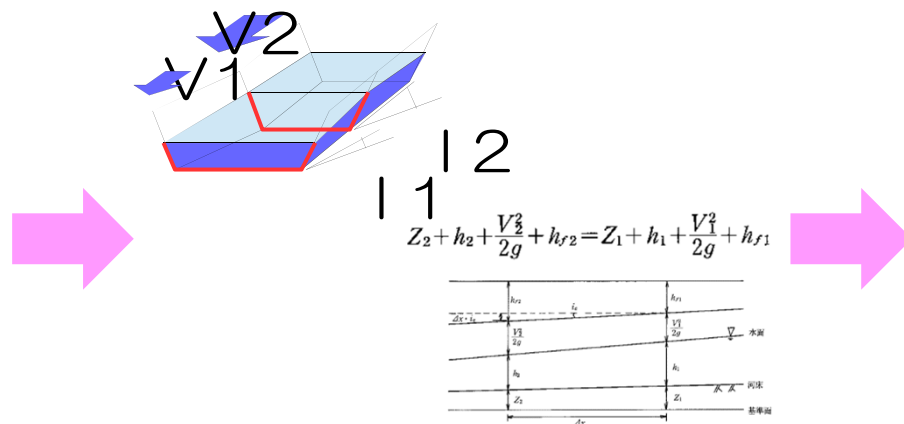
航空レーザー測量



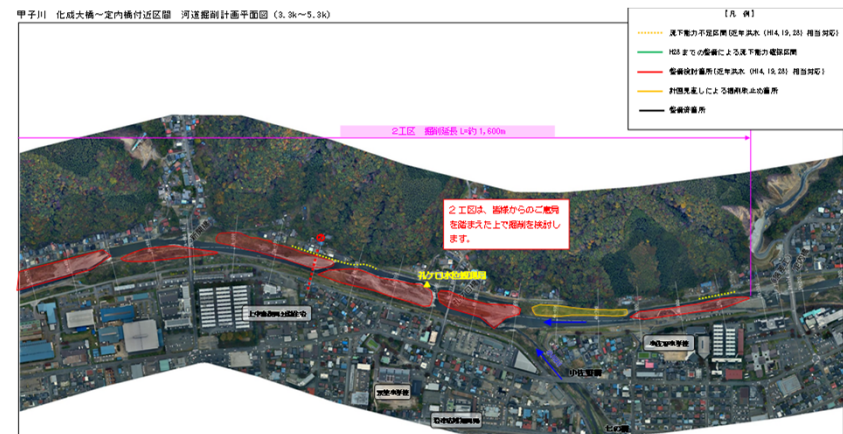
横断面図作成



現地補測



流下能力計算



河道計画策定

2. 工事の実施状況

○最近の河道掘削の実施状況



○ 化成大橋～定内橋

- H29 - H30に240m実施、R1 - R2に250m実施。
- R2 - R3に500m実施、R3 - R4に100m実施。
- R4に定内橋下流付近を実施予定
- 来年度以降、定内橋上流側の河道掘削を進める。

※詳細は資料2を参照ください。

2. 工事の実施状況

生物や植物に対する配慮をしつつ、沿川住民の安心・安全を確保するよう取り組みます。



R3.4.28 鈴木委員立会状況



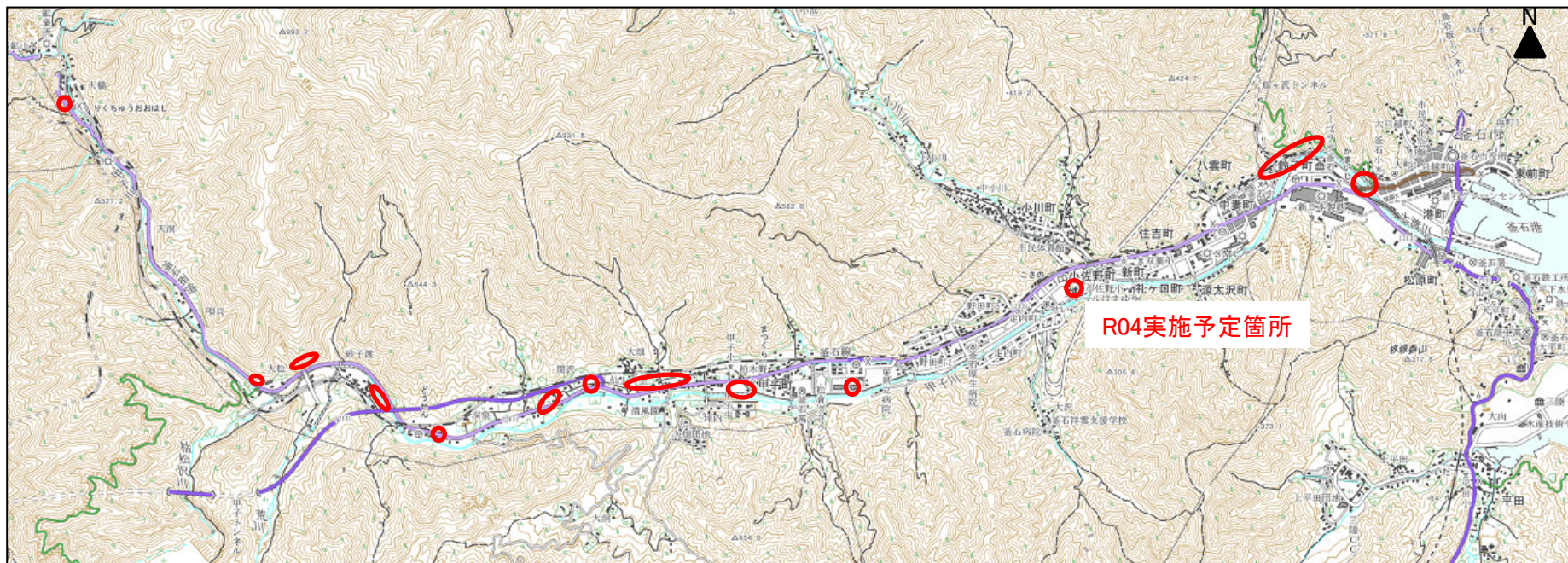
移植後状況

希少種が確認された場合、工事施工前に移植対応。

3. 今後の計画

OR3河口～JR陸中大橋駅付近で測量を実施、土砂の堆積状況等を調査。

— 堆積箇所



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平22業使、第214-26939号)』

- 掘削の基本的な考え方、留意点は、過去の方針を踏襲します。
- 工事を進めるにあたっては、随時委員の皆様等のご意見を参考にして進めます。

3. 今後の計画

予定する対策の内容

○大渡橋下流左岸開口部対策

R3年度～ 陸こう整備中

※ 完成後は、常時閉鎖



○定内橋下流

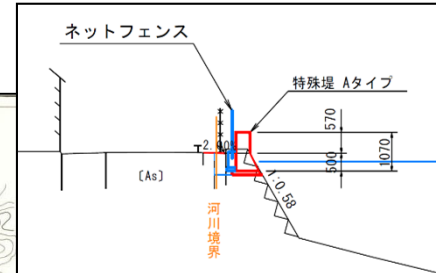
R4年度～ 河道掘削



3. 今後の計画

- 不動橋上流左岸改修
R4年度～ 洪水対策工事
に向けて用地調査を実施
- その他（環境調査・不発弾探査）
随時実施

河道掘削後も、継続的にモニタリング
を実施します。



標準図



鈴木委員との現地調査(R4.6.9)



艦砲射撃被弾図

4. 維持管理

- 県管理の河川や既存施設について、パトロールを実施。
優先順位に応じて修繕を実施。

施設管理の基本イメージ



週に1回河川巡視
パトロールを実施

統一的方法による
施設点検の実施

修繕計画・予算計画の
策定・修繕工事実施

点検結果に基づく対策
優先度の設定

4. 維持管理

源太沢地区護岸修繕工事(R4年度完成済)

- 事業目的：壊れた河川護岸の修繕を実施。
- 事業箇所：礼ヶ口橋下流右岸
- 工事内容：コンクリートブロック張工185m²
- 工 期：令和3年11月～令和4年5月



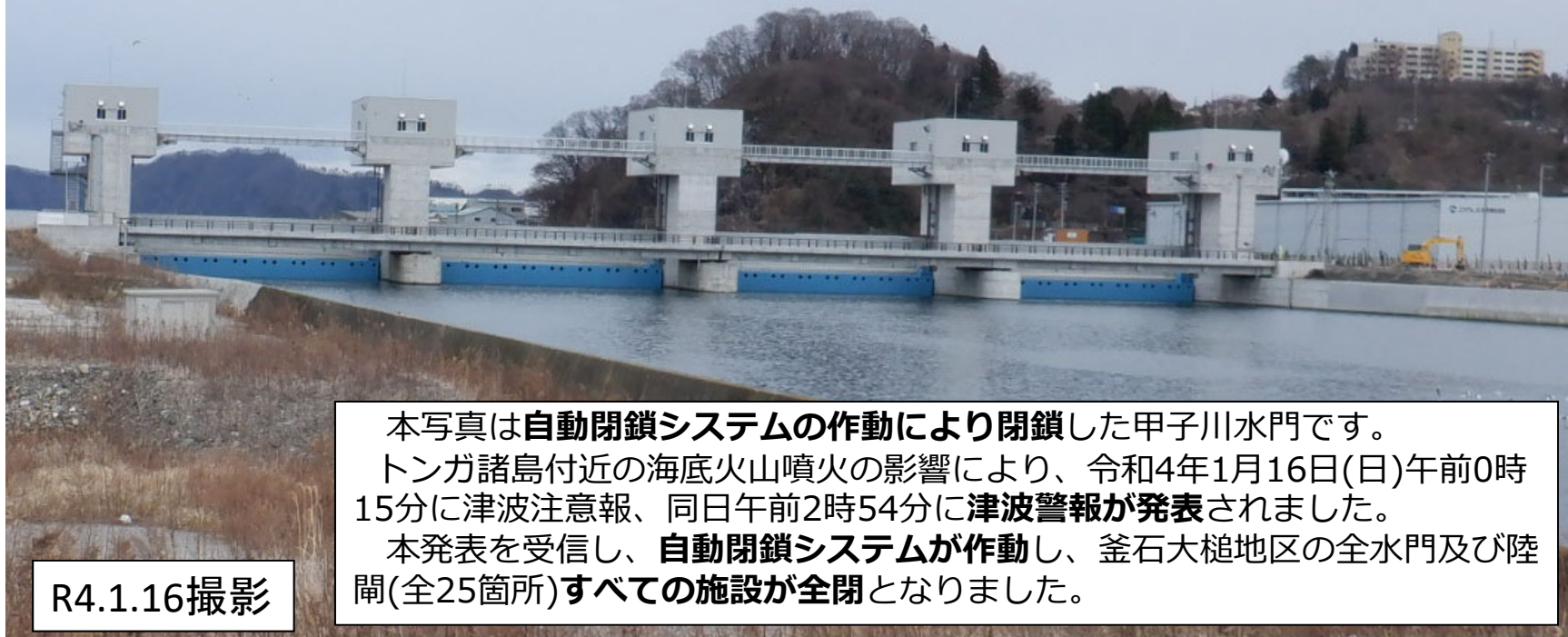
5. 甲子川水門が完成

平成26年度の**工事着手から約7年**、委員の皆様ほか多くの方々のご協力を経て、令和4年3月に付帯工事含め**すべての工事が完了**となりました。

ご不便、ご迷惑をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました！

甲子川水門は**水門・陸閘自動閉鎖システム**により、津波が来る前に**自動で閉鎖**します。

津波が到達するまでの時間を稼ぐことが期待されますので、**津波が到達する前に避難完了**を目指しましょう！



R4.1.16撮影

本写真は**自動閉鎖システムの作動により閉鎖**した甲子川水門です。

トンガ諸島付近の海底火山噴火の影響により、令和4年1月16日(日)午前0時15分に津波注意報、同日午前2時54分に**津波警報が発表**されました。

本発表を受信し、**自動閉鎖システムが作動**し、釜石大槌地区の全水門及び陸閘(全25箇所)**すべての施設が全閉**となりました。

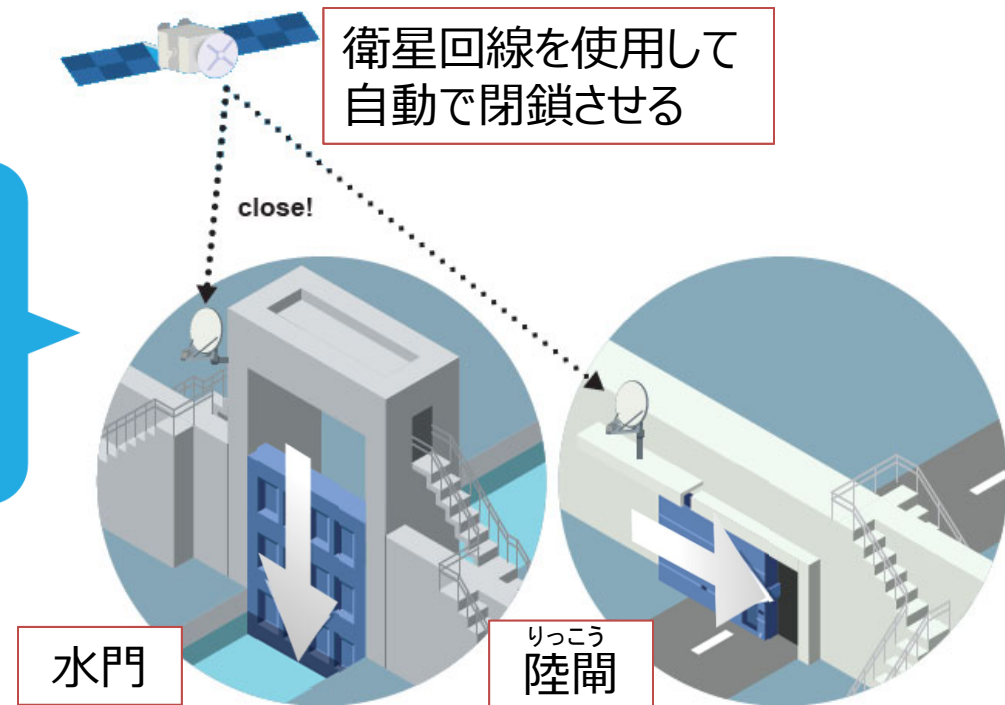
5. 甲子川水門が完成

水門・陸閘自動閉鎖システムとは？

- 水門・陸閘自動閉鎖システムは、津波時に現地で人が操作することなく、災害に強い専用の衛星回線を使用し、安全かつ迅速・確実に水門・陸閘を閉鎖するためのシステム
- 津波が来る前に、水門・陸閘の閉鎖が完了できる

ゲートが自動的に閉鎖！

閉鎖指令を受信すると、操作員が現地に行かなくても、水門・陸閘のゲートが自動的に閉まります。



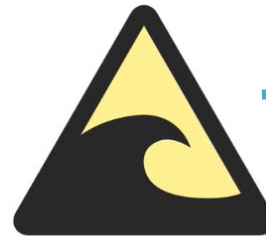
5. 甲子川水門が完成

水門・陸閘自動閉鎖システムとは？

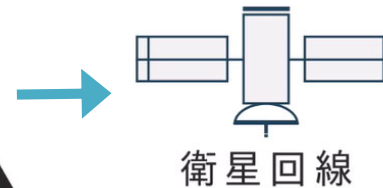
ポイント1

水門・^{りっこう}陸閘を安全かつ
迅速・確実に閉じる

地上災害に強い衛星回線を活用して自動で閉鎖する



津波警報



水門



りっこう
陸閘



操作員が現地で
操作する必要がなくなる

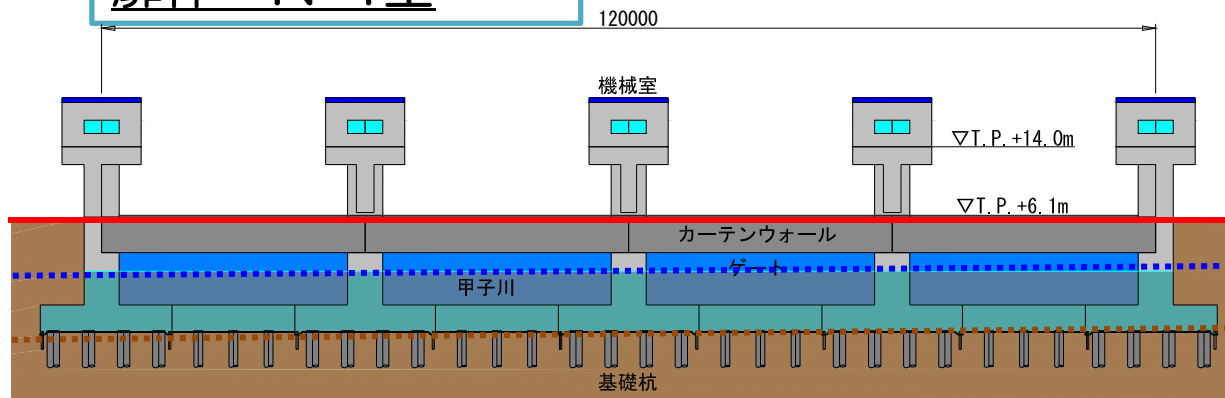
ポイント2

水門・^{りっこう}陸閘の操作者の
生命を守る

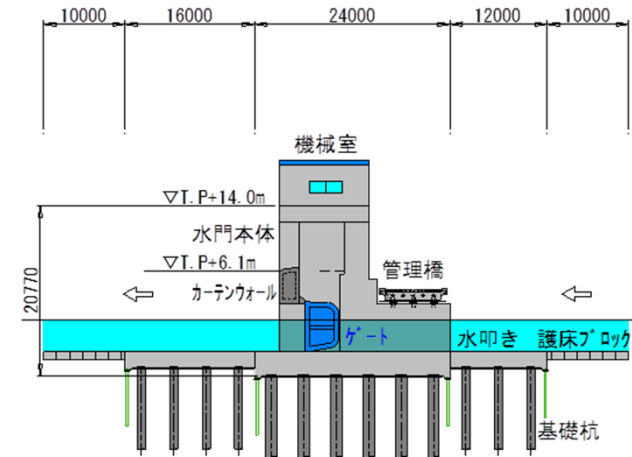
5. 甲子川水門が完成

甲子川水門の概要

高さ T.P.+6.1
 総幅員 L=120m
 扉体 N=4基



正面図



側面図

津波防御の高さ(T.P.+6.1)

水面の高さ

河床の高さ

整備効果

津波対策

シミュレーション (L1津波) 結果、
市街地の浸水なし

※ L1津波

⇒ **数十年から百数十年に一度**
 程度発生する比較的**頻度の高い**
 津波

洪水対策

1/100年確率の洪水を**安全に流下**

※ H28台風10号

⇒ 概ね**1/20年確率**

5. 甲子川水門が完成

甲子川水門の工事経過(過去の資料より)



5. 甲子川水門が完成

甲子川水門の工事経過(過去の資料より)



【工事経過】

H28年度 左岸 躯体

H29年度 **左岸完成!** (扉体2門)

H30年度 右岸 ヤード

R01年度 右岸 躯体

R02年度 **右岸完成!** (扉体2門)

R03年度 工事完了(付帯工事含む)



6. その他情報提供

①「大渡橋」「礼ヶ口水位局」「小川」「甲子町」の4箇所
水位監視カメラを設置、映像配信中。

岩手県 河川情報システム

用語集 >> リンク集 >> 更新

トップ 観測位置図 水位 ▼ 雨量 ▼ ダム諸量 ▼ 水防警報 **カメラ画像**

地図、または地区タブから希望する地区を選択してください。

観測位置図 >> 水位 >> 雨量 >>

避難判断水位 発表はありません。
超過情報

水防警報 発表はありません。

基準雨量 時間雨量10mmを超えた観測局はあり
超過情報 前24時間雨量50mmを越えた観測所

大雨警報 発表はありません。
洪水警報

土砂災害 発表はありません。
警戒情報

岩手県 河川情報システム

用語集 >> リンク集 >> 更新

トップ 観測位置図 ▼ 水位 ▼ 雨量 ▼ ダム諸量 ▼ 水防警報 **カメラ画像 ▼**

カメラ画像 (2/13) ページ切替: < 前ページ | 次ページ > 観測所: 礼ヶ口

表示間隔: 1時間 | 10分 観測時刻: 2022年03月03日 11時00分

所在地 釜石市甲子町大字釜石12地割9-1 設置位置 >>

河川名 甲子川
観測所名 礼ヶ口
堤防高
氾濫危険水位 2.90
避難判断水位 2.70
氾濫注意水位 2.70
水防回待機水位 2.20
月/日 時:分 水位 (m)
03/03 11:00 0.11
03/03 10:00 0.10
03/03 09:00 0.10
03/03 08:00 0.10
03/03 07:00 0.10
03/03 06:00 0.10
03/03 05:00 0.11
03/03 04:00 0.10
03/03 03:00 0.10
03/03 02:00 0.10
03/03 01:00 0.10
03/03 00:00 0.10

2022/03/03 11:37:14

礼ヶ口

平常時の画像

2018/05/05 11:33:50

水位[m] 現在の水位は、0.11 mです。

6.50
-1.00
11:00 23:00 11:00
5/2 3/3

--- 堤防高 (m)
--- 氾濫危険水位 2.90(m)
--- 避難判断水位 2.70(m)
--- 氾濫注意水位 2.70(m)
--- 水防回待機水位 2.20(m)

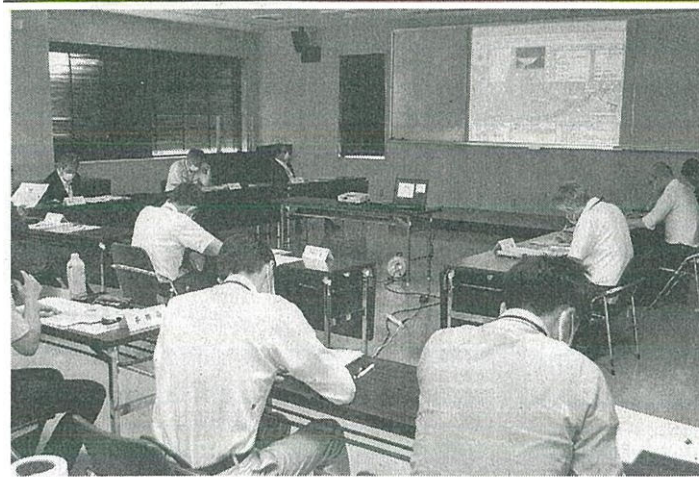
簡易型河川監視カメラはこちらからも見られます

河川情報システムにて、常時
甲子川の状況を確認することが
できます。洪水時等の参考にし
てください。

6. その他情報提供

② 「流域治水」の取組

新聞記事 令和3年9月 日刊岩手建設工業新聞



第1回甲子川水系流域治水協議会

甲子川水系の治水対策へ

流域治水プロジェクト案を了承

県では気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、関係者が協働で治水対策を推進する、流域治水プロジェクトの策定に取り組んでいる。8日には甲子川水系流域治水協議会の初会合が釜石市で開かれ、プロジェクト案を協議し、了承した。

同協議会は、県や釜石市、東北森林管理局、三陸中部森林管理署、国立研究開発法人森林

研究・整備機構森林整備センター盛岡水源林整備事務所で構成。8日は、構成員から7人、オブザーバーとして東北地方整備局河川部の川口滋地域河川課長が出席した。

当日は県側がプロジェクト案を説明。16年台風第10号と同規模の洪水の被害軽減を図るため、取り組むべきハード・ソフト対策について提示した。

「このうち、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」では、堤防や護岸、砂防堰堤、治水施設、公共下水道

雨水幹線の整備、河道掘削、日向ダムの事前放流、内水排除用ポンプピットや水路閉塞対策用スクリーンの設置、森林整備、治山対策などを設定。「被害対象を減少させるための対策」では、浸水対策として宅地等のかさ上げ、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」では、ハザードマップの作成や、避難訓練、情報伝達体制の拡充、ホットライン・タ

イムラインの運用、夫妻汚水ポンプ場の耐水化などを盛り込んでいく。

主な事業の全体事業費は、県が実施する河川対策の堤防・護岸整備、河道掘削で約47億円（1981年度～2028年度）、土砂災害対策の砂防堰堤整備で約8億円（20年度～24年度）、治山対策の治山堰堤整備で約2億円（22年度～28年度）、釜石市が実施する下水道対策のポンプピット設置、雨水幹線整備、施設耐水化で約8億円（21年度～28年度）を概算している。

県では、これまでに北上川と馬淵川の2水系（1級水系）と、小本川水系（2級水系）で協議会を設置し、3月にプロジェクトを策定済み。8月末までにまとめる4水系はいずれも2級水系で、策定後は県土整備部河川課ホームページで公表される。

3. 今後の計画

予定する対策の内容

○大渡橋下流左岸開口部対策

R3年度～ 陸こう整備中

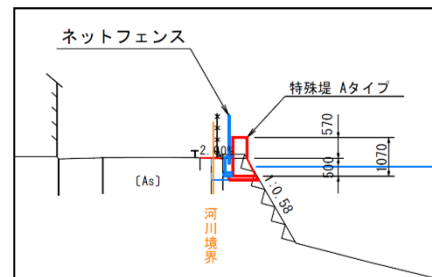
※ 完成後は、常時閉鎖



○不動橋上流左岸改修

R4年度～ 洪水対策工事

に向けて用地調査を実施。



標準図



3. 今後の計画

- 定内橋下流
R4年度～ 河道掘削
- 環境調査・不発弾探査
随時実施

河道掘削後も、継続的にモニタリングを実施します。



定内橋下流



鈴木委員との現地調査(R3.4.28)



艦砲射撃被弾図